

2017年07月05日

向田理事長が名古屋掖済会病院のヘリポートを見学しました

当会向田昌幸理事長は平成29年7月5日、東海地区洋上救急支援協議会通常総会に出席し、洋上救急に功労のあった名古屋掖済会病院（出動実績5回）及び同病院看護師長（出動実績3回）に対し、それぞれ当会会長からの団体表彰と個人表彰を伝達しました。また同理事長は名古屋掖済会病院を訪問し、河野院長の案内により、昨年10月に完成した新病棟屋上のヘリポートを見学しました。

このヘリポートは、ドクターヘリや県防災ヘリのみならず、これらより大型の海上保安庁のヘリコプターが離発着できるように、最大荷重が8.6トンに設計されています。

これまでは、洋上救急のために出動する同院の医師や看護師は海上保安庁の最寄りの航空基地がある中部空港まで陸行していましたが、このヘリポートが完成したことで、海上保安庁のヘリコプターによる直接送迎が可能となり、交通渋滞を心配することなく迅速な洋上救急への対応が可能になりました。



（左から 北川喜己副院長 向田昌幸理事長 河野弘院長 山田秀則看護師長）



名古屋掖済会病院新病棟

屋上ヘリポート



きゆうすけケン ・ バッジ
（洋上救急バージョン）

※洋上救急に出動した医師と
看護師が着用するもの